第5回湖南省庁舎整備計画検討委員会

議事要約

日時：令和6年10月8日(火)9:30~10:30

場所：湖南省役所東庁舎3階 大会議室

出席者： 委員6名、事務局7名

開会

1. 挨拶

●委員長

-
- ・外部検討委員会は昨年度から始まり、本日第5回を迎え大詰め段階である。今まで貴重なご意見をありがとうございました。本日は基本計画の案について忌憚のないご意見を頂きたい

2. 検討事項

1) 湖南省庁舎整備基本計画(案)について

●事務局

-
- ・湖南省庁舎基本整備基本計画(案)について、資料「議論のポイント」に沿って説明。

●委員長

-
- ・P18の「新庁舎の導入機能」について他に付け加えるべき内容や修正すべき点、P33フロアゾーニングに関する意見はないか。
 - ・コロナ対策について、県だとコロナ対応の部署や対策室が整備されているが、東庁舎には入れないのか。感染症対策についてはどう考えるのか。

●事務局

-
- ・感染症対策については記載がないため、記入していきます。

●委員長

-
- ・災害対応と同じようにしてよいのか、別で考えなければならないのか、検討が必要である。
 - ・今後オンラインで会議をすることは考えているのか。そのための部屋を整備することについては記載があるのか。

●事務局

-
- ・P18以降にそれぞれの機能の詳細について記載している。

●委員長

-
- ・フロアゾーニングについては具体的な図面が出てこないと思う。用途別に分類して各階に配置するという案になっている。

●事務局

-
- ・フロア分けの考え方については、P32「各課の配置方針」で低層階、高層階にどのような機能を配置するとよいか優先順位を整理しており、これに基づいてフロアを分けている。

●委員

- ・P34の換算職員数について、「人口5万人以上50万人未満の換算率により算定」と幅のある人口で記載されているが、全国的には少子高齢化の流れがある中で、湖南省ではどのくらいの人口規模を想定しているのか。

●事務局

- ・記載していないためタウンミーティングで概ね想定人口規模を示していたので整合をとり追記します。

●副委員長

- ・フロアゾーニングで部や課の名称をここまで具体的に記載する必要はあるのか。バックデータとしては必要だが、今後、組織改編や名称変更の可能性がある。基本方針に基づいた新庁舎の導入機能を整理されており、これらの観点に基づき、フロアゾーニングとしては、市民サービス関連は低階層に、などという割り振りの考え方が分かる見せ方にしてはどうか。
- ・東庁舎以外に分散している行政機能との連携について、今後の取組に関する考えを示した方がよい。タウンミーティングでの意見を見ている西庁舎への思いがある方々もいる。今後、分散されている行政機能とどう連携していくのかについても基本計画で深く加味してほしい。

●事務局

- ・フロアゾーニングの表現の仕方については再度検討する。
- ・西庁舎については今後どうしていくのか、基本計画の最後に整理しているが、東庁舎を中心としてどのような連携構成にするかについては資料が必要だと考えている。

●委員

- ・夏見保健センターの健康福祉部は将来どうなるのか。新庁舎に集約するのか、今の場所を借り続けるのか。

●事務局

- ・保健センターはそのまま残し、健康福祉部のみ新庁舎に集約する。

●委員

- ・基本的には、概ね東庁舎にほぼ集約すると考えた方が良いか。診療所等は集約できないが、西庁舎の教育委員会や夏見保健センターの健康福祉部などは集約するのか。
- ・サンライフ甲西もずいぶん老朽化しているため、整備を考えてほしい。例えば、サンライフ甲西はエレベーターがなく、極めて不便。まだ先の話かもしれないが考えてほしい。

●事務局

- ・西庁舎の教育部、石部保健センターのこども未来応援部、夏見保健センターの健康福祉部などの行政機能を東庁舎へ集約する。
- ・サンライフ甲西については、具体的な整備内容は詰めてないが、連携を取りながら検討を進めていきたい。

●委員

- ・社会福祉協議会はサンライフ甲西に移転することとなっているが、スペースは足りるのか。商工観

光労政課のスペースに収まると思えない。大会議室があるが、それなりに利用すると思う。

●事務局

-
- ・サンライフ甲西の中にも会議室がある。会議室などは新庁舎のものと兼用できないか検討している。

●委員

-
- ・エレベーターの設置も含めて検討してほしい。
 - ・4階建ての新庁舎が高台に建つと、下（駐車場側）から見ると5階建てくらいの高さを感じ、圧迫感があるのではないかと思う。県庁のように高い所と低い所を跨いで建てることも考えられるが、フロアの割り振りが難しかったり、浸水想定区域の問題もあると思う。ただ、立体駐車場を建てるのであれば、そのようなレイアウトも可能になるのではないかと思う。
 - ・高台から立体駐車場に直接アクセスできるレイアウトも良いと思う。高台からアクセスできないと浸水時に立体駐車場に入ることができない可能性がある。
 - ・将来の東庁舎（旧庁舎）のあり方について、P39A案のモニュメント的な利活用はいちばん難しいと思う。活用できるのであればすれば良いと思うが、東庁舎を残すと「建替えなくて良いのでは」という話になるので、例えば、強度に問題がないように減築する場合どのくらい費用がかかるか、減築して活用する場合どのくらいもつのかなどを検討する必要がある。仮に20年後に解体が必要なら、20年後にまた解体費用が発生する。解体するのは杭が入っているため高くつくとのことだが、解体より減築の方が安いとしても20年後に杭を取るのに費用がかかる。ある程度の費用が分からないと比較検討が難しい。個人的には減築して利用するなら図書館が良いと思う。
 - ・建築費は数年前の倍になっている。建築資材の高騰は実感しているが、建築費高騰の要因は能登地震や万博の影響もあると言われている。それが落ち着いてくれば、下がる見通しはあるのではないか。鉄の価格は下がってきており、銅などの他の金属はあまり下がっていないため分からないが、今後、2割、3割程度下がる見通しはないのか。

●事務局

-
- ・現時点で基本計画としてはここまででまとめ、今後の基本設計で比較検討をおこない方針をまとめたい。

●委員長

-
- ・将来の検討ポイントとして書いてもらえると良い。解体しない場合は、再整備の必要があるのかなど、今後考えられる検討ポイント、議論ポイントとして挙げておいてほしい。

●委員

-
- ・概算事業費は余裕を見ているのか。

●事務局

-
- ・少し余裕を見ている。資材は落ち着いてきているところもあるが、人件費はかなり高騰しており、先行きが見えない。基本設計では、庁舎の面積や導入する設備などについて検討しながら金額を精査していきたい。金額も面積も少し余裕を見ている。概算費用にはサンライフのエレベーター改修や東庁舎の解体費も含んでいる。

●委員長

-
- ・P41の概算事業費と財源について、表ではなく、円グラフにしたほうが分かりやすい。また、「〇年度概算」と、いつの概算なのかを表記しておくと思う。

●副委員長

-
- ・個人的な感覚としては、実際に着手し始める時にはこの金額では収まらないと思っている。社会情勢において、今後は金利が上がり、最低賃金の引上げで人件費がどんどん上がる。人件費が上がると事業費も上がる。市民の賃金が上がるのは良いことだが、同時に建設現場の人件費も上がり、工場もAIが普及してもある程度の人件費が必要であるため、建設費や工場生産費も上昇し、事業費が上がるという前提で、市民負担をどうするかをセットで示した方が分かりやすい。

●事務局

-
- ・今後、検討していきます。

●委員

-
- ・庁舎を建替えても必ずいつかまた整備が必要になると思う。その中で、市民に安心して喜んでもらえる建物にしていけないといけない。色々な場で市民からの意見をいただいているが、市民の声を反映しながら進めてほしい。

2)今年度のスケジュールについて

●事務局

-
- ・今年度のスケジュールについて説明

●委員

-
- ・市長選もあり、基本計画についてはそれまでに確定したいという思いがあると思う。もし、今後市長が変わって計画が大幅に変わる可能性はあるのか。

●事務局

-
- ・事務局としては基本計画策定に向けて進めていく。市長が変わったとしてもこの基本計画案を説明していく。

●委員長

-
- ・これまで2年間、良い議論を重ねてきた。この時間と努力を無駄にしてほしくない。

2. その他

●事務局

-
- ・タウンミーティングの結果について、詳細はHPに掲載している。
 - ・来年度以降、基本設計、実施設計を進めていく。その中で市民の意見を聞く場として、市民ワークショップや懇談会などを開催しながらとりまとめていく。また、西庁舎周辺についても基本計画で示した案をベースに市民ワークショップ等で意見を聴きながら進めていく。

●事務局

-
- ・次回の検討委員会は、令和7年1月中旬で日程調整をする。

閉会